

協組4団体 発展へ交流

岐阜市で集い

全県生活協同組合連合会
や県農業協同組合中央会
(JA岐阜中央会) など協
同組合4団体でつくる県協



岐阜県の協同組合の歴史に
ついて語る李命美座長。岐
阜市司町、みんなの森ぎふ
メディアアコスモス

同組合間提携推進協議会
は、岐阜市司町のみんなの
森ぎふメディアアコスモスで
「協同組合を考える集い」
を開催した。組合員約12

0人が他団体の活動内容を
学びながら交流し合い、発
展への思いを新たにした。

協同組合は、共に助け合
う「共助」の理念を掲げ活
動。貧困の軽減や雇用の創
出に貢献するほか、地域の
身近な困り事にも取り組ん
でいる。国連は協同組合の
取り組みをさらに広げるた

め、2025年を12年に続
く2回目の「国際協同組合

年」に定めて社会的な認知
を高めるよう求めている。

県協同組合間提携推進協
議会は同集いを毎年7月に
開いているが、国際協同組
合年に合わせた特別活動を
展開していくため前倒しし

て開催。座長を務める李命
美岐阜大准教授は、協同組

合の歴史や教育活動を振り
返りながら「皆で知恵を絞
り社会に貢献できる方法を
考えよう」と呼びかけた。

各団体による活動紹介の
ほか、日本協同組合連携機
構の横溝大介さんが講演し

国際協同組合年で実施され
ている活動事例を示した。